

令和4年度 第5回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2023年（令和5年）2月3日（金） 10：00～12：00
2. 場所：市役所5階会議室
3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）（曾志、森谷、江連）
池子小学校区住民自治協議会（田宮）
久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井、鈴木）
小坪小学校区住民自治協議会（阿部、吉田）
※敬称略
桐ヶ谷覚市長（冒頭のみ）
地域担当職員リーダー（佐藤多佳子教育部次長）
市民協働部（岩佐正朗部長、石井聡市民協働課長、西久美子市民協働係長、今野仁介市民協働課主事（議事録作成者））

4. 議事

1. 令和5年度地域づくり交付金について
2. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
3. その他（（仮称）地域自治に関する条例検討懇話会について）

5. 資料

1. 令和5年度地域づくり交付金（全小学校区）
2. 情報交換テーマ一覧
3. KJK（小坪住民協広報誌 Vol. 6）
4. 脱炭素宣言（小坪住民協）

6. 概要

【市長挨拶】

・市長から、2期目就任に当たり、今後の市政運営について述べられ、逗子小学校区での立ち上げ、地域交通の充実、空き家問題、コミュニティスクール構想等について、各住民協と意見交換を行った。

議事1 「令和5年度地域づくり交付金」について

（石井聡市民協働課長）

・住民協への交付金について、各住民協からの要望額どおりで予算案とし、議会提案を行う予定である。次回の連絡会で交付金額をお伝えできる見込みである（資料1参照）。また、今回は担当所管課の職員も交えて、地域交通をテーマにできればと考えている。

《意見概要》

(池子)

・交付金について、今後、高齢者のフレイルチェックを実施したいと考えているが、該当するメニューがないので検討してもらいたい。

(石井聡市民協働課長)

・令和5年度予算には間に合わないので、令和6年度の交付金メニュー検討時に議論したい。

(沼間)

グリーンヒル自治会館について、耐震診断の進捗を知りたい。

(石井聡市民協働課長)

・今年度内には耐震工事が終了する見込みである。一方で、小坪地区の南ヶ丘自治会館も同様の耐震診断を行ったが、躯体の状況が悪く、より大掛かりな工事となる。

(小坪)

・南ヶ丘自治会館は、公園の裏に立地しているが、裏に崖があることも考慮すると、別の場所に移転する必要も考えなくてはいけないのではないか。

(石井聡市民協働課長)

・ご指摘のとおり複合的な検討は必要である。仮に2階建てにするとすると、現在の基準では設計にバリアフリーの視点も必要となり、現実的には立替は困難である。

(小坪)

・どの程度のスケジュール間になるか示して欲しい。

(石井聡市民協働課長)

・現時点で、最短でも1年以上かかる見込みである。

(小坪)

・地域活動センターは避難所となっている関係もあり、しっかりと情報共有をお願いしたい。

(小坪)

・例えば各住民協が自由に使える共通経費を設ける、小坪住民協の交付金を別の住民協が使えるようにすることはできないか。

(沼間)

小坪住民協の広報への取組は素晴らしく、ぜひ沼間でも取り入れたいと考えている。そのためにも交付金の使途について、自由度を上げてもらいたい。

(小坪)

・広報誌を作る際のソフトウェアの経費のこともあり、住民協の活動しやすさを考えると、繰り返しになるが、交付金の使い方についての自由度は上げるべきである。

(沼間)

各住民協単体ではなく、住民協全体で取組むべきと認識した課題については、共通で新たに

予算組みする等の対応が必要と考える。

(石井聡市民協働課長)

・住民協の予算の組み立て方については、今後検討する必要がある。また、ソフトウェア、ホームページ、広報誌等の印刷物の経費についても、各住民協の状況を考慮していきたい。

(岩佐正朗市民協働部長)

・交付金が市役所の予算から出ているという性質上、用途の自由度についてはどこまで対応できるか議論しなくてはならない。また、住民協が共通課題と認識したものに対して予算を要望するという部分について、自治体が広域連携によって共通課題に取り組む話もあるため、住民協においても同様の考えがあってもいいのかもしれない。

(小坪)

・住民協で HP 運営等を行っていく際、デジタル面でどのようなサポートをしてくれるか。

(石井聡市民協働課長)

・ソフトウェアの使い方等については、市民交流センターにご相談いただければ、詳細な案内やアドバイスができる。

(池子)

・現在、住民協についての条例検討がされているが、条例の制定後に交付金の考え方は変わるのか。

(石井聡市民協働課長)

・条例化によって変更する点はない。

議事 2 「各住民自治協議会の活動に関する意見交換」について

【小坪住民協】

・KJK（小坪住民協広報誌）を主に若者向けに発行しているが、スピンオフ企画として、コツボノツボ展という展覧会を交流センターで実施する（3/8(水)～3/15(水)）。内容は広報誌作成のために一般募集した写真、動画等の展覧会を予定しているので、ぜひご来場いただきたい（資料3参照）。

・小坪住民協で脱炭素宣言を行った（資料4参照）。これを皮切りに様々なセミナーを実施していきたい。

《意見概要》

(久木)

・KJKの印刷費用はどれくらいか。

(小坪)

・1枚5円程度となっている。

(久木)

・脱炭素宣言を行った経緯は。

(小坪)

・脱炭素の取組については、とても大きな課題と認識しているが、自分たちでも少しずつで

もできることがあるのではないかと考え、宣言を行った。これから様々なことを進めていく中で、考えを発信することは重要だと思っている。

(久木)

- ・宣言に沿った講演等ができれば非常に効果的だと思う。

【沼間小学校区地域連合会】

・各自治会、協力団体の状況として、飲食を行うイベント等が増えてきた印象があり、バスツアーを実施した団体もあるようである。

・年に1度の広報誌の作成を行っており、関係団体に記事の照会をしている段階で、6000部程度配付予定である。

・沼間コミセンで実施している0円食堂について、調整のうえで調理室にロッカーを設置できたため、より事業が実施しやすくなったと聞いている。

・住民協の条例検討と併せて、引き続き会則の改正に取り組んでいる。

・東逗子商栄会の朝市行事として「GOTO朝市」を実施し、地域の方はもちろん、無料タクシーで他の地域をつなぐルート作り、池子（アザリエ）、桜山地区の方にも来場してもらうことができた。通常の朝市では約300名程度の来場人数であるが、約2000名もの来場があったため、タクシーの影響力を実感している。会場への交通手段さえあれば、このようなイベントには地域の需要があることが分かったので、新しい交通手段を考える1つの材料にしてもらいたい。また、無料タクシーの実施にあたっては、経済産業省の補助金の存在は大きかった。

《意見概要》

(久木)

- ・無料タクシーについて事業の採算はどのような状況か。

(沼間)

・補助金があっても厳しい状況である。

・チラシによりイベントの周知を行ったが、認知度が3割程度に留まってしまったのが残念である。

【久木住民協】

・久木小学校区の地区防災拠点の設置が決まったようだが、今後の課題として、防災拠点に集まった情報を各自主防災組織へ発信し連携する方法、在宅避難者の安否確認の方法等が挙げられる。防災拠点の人員体制も一部決まり始めたようなので、住民協としても様々動いていきたいと考えている。

・久木小学校の長寿命化に伴って、久木会館の移設についての相談も受けているので、利用者のニーズも汲み取りながら、市にフィードバックしていきたい。

《意見概要》

(沼間)

- ・今回指定された市の担当者の役割は何か。

(石井聡市民協働課長)

- ・各地域と市の災害対策本部との情報伝達のパイプ役であり、現地責任者となる。

(小坪)

- ・有事の際の懸念点として、在宅避難者の把握が困難であることが挙げられる。

【池子住民協】

- ・住民協の条例検討会に参加したが、改めて地域住民全員を見守ることが必要と考えた。
- ・池子住民協としては、池子やままつり、池子体育祭へ主にバックアップとして参加し、体育会、キッズサポーター等と引き続き協力していきたい。
- ・池子地区の空き家に地域の図書館を作ろうという動きがあり、空き家の所有者との交渉を行いつつ、キッズサポーターの担当者と協力し、本の収集を行っていきたい。

議事3 その他（(仮称) 地域自治に関する条例検討懇話会について）

(石井聡市民協働課長)

- ・先月19日の第5回の会議をもって検討は終えた。現在はメンバーの皆さんに最終案の確認中である。次回の連絡会では報告できるものと考えている。

【その他】

(小坪)

- ・地域で大型犬の放し飼い（リード未着）、自転車の3人乗り（前後に子どもを乗せる）が危険だと感じている。各地域でも同じような状況はあるか。

(沼間)

- ・確かに自転車のマナーを悪いと感じることはある。

(久木)

- ・大型犬を見かけることはあるが、ドッグランでリードを外しているようである。

(小坪)

- ・自転車の担当課はどこか。

(石井聡市民協働課長)

- ・交通安全の担当は環境都市課である。